

大雨と土砂災害にどう備える

～いざという時に、身を守る行動とは～

市では、災害の危険が高まり避難が必要となる際に、災害の状況に応じて避難情報を発令します。災害につながる恐れのある大雨が降り始めたと想定し、どのような時にどのような行動を取るべきか確認しましょう。



今後の気象情報に注意してください。

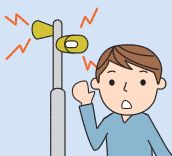
情報の収集

市からは屋外スピーカーや防災ラジオ、ケーブルテレビ、市ホームページなどで防災情報を発信しています。



屋外放送音声再生サービス

屋外スピーカーの放送が再生されます。放送が聞き取れなかった際は、ぜひご利用ください。
☎53-8333



インフォメールななお

気象情報や避難情報など、緊急かつ重要な防災情報がメールで確認できます。

携帯電話での登録方法

QRコードの読み取り、または「nanao@entry.mail-dpt.jp」のメールアドレスを送信した後、送られてきたURLで登録手続きを行う。



高齢者や障害のある人、乳幼児など避難に時間がかかる人は、避難所へ避難を開始してください。それ以外の方は、避難の準備をしてください。

自宅周辺の危険箇所を再確認

ハザードマップで危険な箇所や避難場所の確認をしましょう。洪水、土砂災害、ため池ハザードマップは市ホームページなどで確認できます。

崖や川のそばは避けようね



非常用持ち出し品の確認

食料や飲料水、持病の薬など必要なものがそろっているか確認しましょう。



家族や近所と連絡を取る

不在にしている家族に連絡し、近所同士で声を掛け合って、援助が必要な人の避難に協力しましょう。

速やかに避難を開始してください。

早めの避難行動を



突然の異常気象で市からの避難情報が間に合わない場合があります。身の危険を感じたら周囲の人と相談し、早めに安全な場所へ自主避難しましょう。避難中はふたが外れたマンホールや側溝、段差に気を付けましょう。

避難するときの注意

避難は徒歩で

避難する時は、動きやすい服装(肌の露出を抑えた長袖、長ズボン)で、2人以上で行動してください。

足元に注意を払う

長靴は足を取られる危険があります。ひもで締められる歩きやすい運動靴で避難してください。

車での移動は控えて

自動車での避難は緊急車両の通行の妨げになります。また、冠水した道路を走るとブレーキが効かなくなる恐れがあります。車での避難は控えてください。

水位の確認

浸水した場合、歩ける深さは股下までです。水深が腰まであるなら無理せず、高所で救助を待つのが安全です。

まだ避難していない人は直ちに避難してください。

避難の完了



こんなときは、屋外の移動は危険です!



- 夜間や急激な降雨で路上の危険箇所が分かりにくい。
- 浸水のため水の流れが速い、用水路の位置が分からないことなどから、転倒の危険がある。

垂直避難



浸水による建物倒壊の危険が無いと判断される場合は、自宅や近隣建物の高い場所へ緊急な一時避難も検討してください。近くに崖や山がある場合は、反対側の部屋に避難し、非常用持ち出し袋と靴も必ず持参してください。

防災士の資格取得を助成します

災害に関する専門知識を生かして、地域防災の中心的な役割を担う「防災士」。円滑な避難や避難所運営が行われるためには、地域の実情を理解したリーダーの存在が不可欠であり、市は自主防災組織や町会に最低1人の防災士の確保を目指しています。防災知識や技能を習得したい、非常時に地域住民の力になりたい人は、防災士育成研修を受講しませんか。

- 日時/平成30年12月1日(土)、2日(日) 9:00～18:30
- 場所/生涯学習センター ラピア鹿島
- 費用/受講料免除、試験料3,000円、登録料5,000円
- 申込期限/9月28日(金)
- 申込方法/町会長または総務課防災対策室にお問い合わせください

※防災士の取得には普通救命講習の修了証が必要です。講習の詳細は七尾鹿島消防本部のホームページをご覧ください。



問 総務課防災対策室 ☎53-6880